

じぞくかのう  
Q. 今の時代に合う「持続可能なお城」って、どんなお城？

※オリジナルのお城を描いて、その特徴やこだわりも書こう！  
【POINT！】

生徒たち個々人で、現代の流行や将来のことを考えて、持続させるための理想のお城を描いてみてください。

(例) 地震に備えて鉄骨で築くお城、太陽光やお堀の水力で電力を生み出すクリーンなお城、定期的に市民へ解放することで地域から愛され続けるお城 など

### 日本版持続可能な観光ガイドライン「JSTS-D」について

JSTS-Dとは、日本版持続可能な観光ガイドラインの略称で各地の多様な現状を踏まえた持続可能な観光地マネジメントを行うための観光指標です。



### 【JSTS-Dの基準における、本書物の役割】

A8「観光教育」：地域コミュニティ、学校、高等教育機関において観光の可能性や課題に関する教育プログラムがあること。  
⇒城育冊子は観光に関する教育として、「丸亀城」という観光資源を活用した多面的・多角的思考力を養い、観光の可能性を探るものです。

C8「観光資源の解説」：観光地において、解説を含む適切な情報が提供されていること。  
⇒城育冊子の解説は地域住民や地元の教育機関、活用いただいた方々からの意見を集約し、定期的に内容を更新・作成しています。

丸亀市 × SDGs (持続可能な開発目標)



発行：(一財)丸亀市観光協会 TEL：0877-22-0331

令和5年7月第5版

# 楽しくて、 おもしろい、「城育」 はじめました！

～さまざまな物事の見方・考え方を学ぼう！～  
in 丸亀城



丸亀城HP

【教員用】



さぁ、お城を  
探検だっ!!

学校名	
学年	年 組 番
なまえ	
班	

# 丸亀城内マップ



## 01 二の丸井戸

丸亀城で最高所にある井戸である。深さは約36間(約65m)で、日本で一番深い井戸と言われる。築城にかかわる悲しい伝説も残っている。



## 02 高石垣

三の丸北側の石垣は、丸亀城のなかでも高く、20m以上の城壁が続いている。隅角部の石垣は算木積みされた美しい曲線美であり、これを「扇の勾配」と呼ぶ。



## 03 見返り坂

大手一の門を入り左へ行くと、天守へ登る坂にかかる。かなりの急勾配をもつ150mの坂道である。坂は途中で右へ曲がり途中に見えてくる「扇の勾配」と呼ばれる石垣の優美な曲線は見事である。



## 04 城内観光案内所

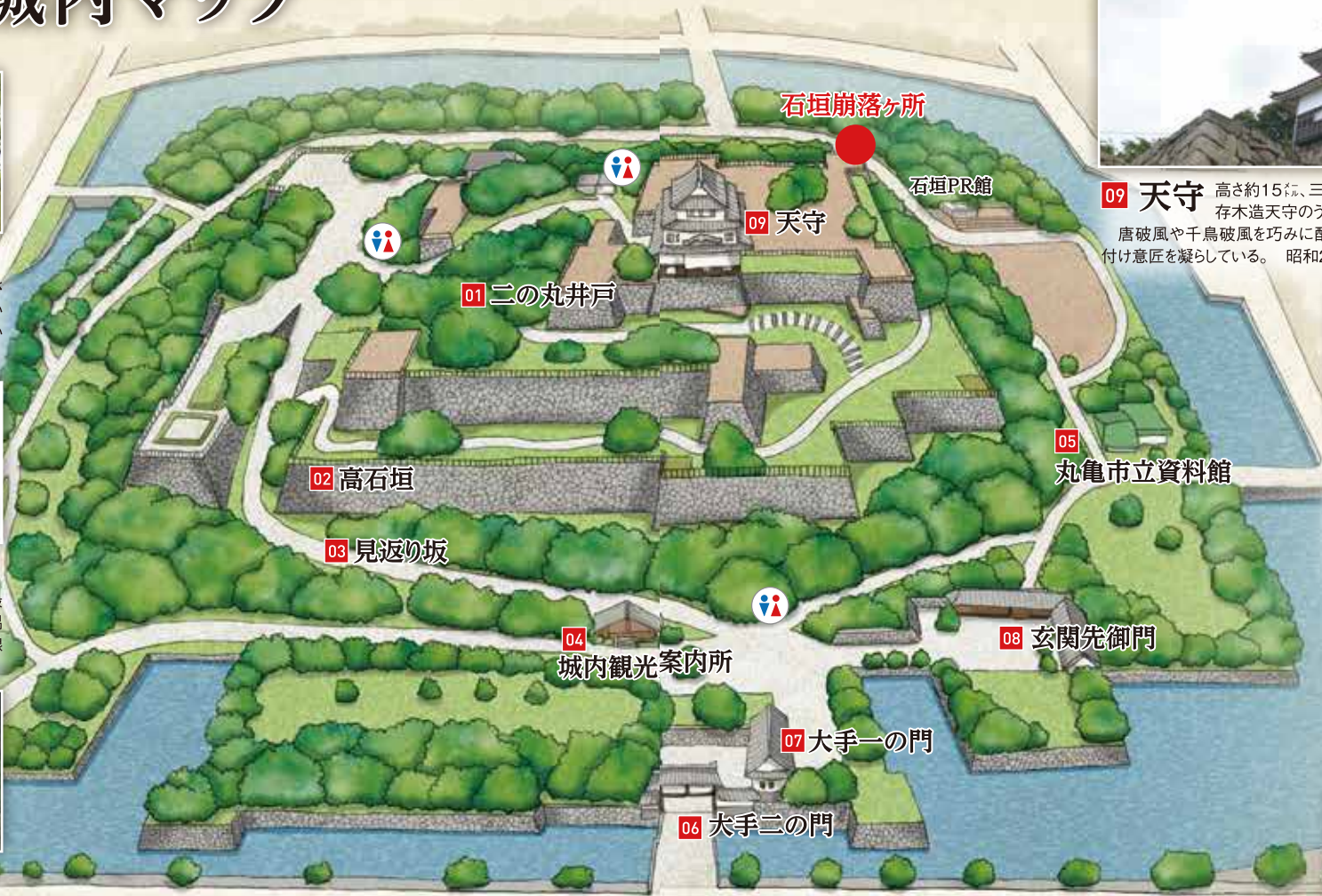
丸亀城グッズをはじめ、ご当地グルメの骨付鳥(冷凍)や地元産の桃を使ったアイスクリーム、お城にちなんで作ったオリジナル和菓子など丸亀ならではのお土産が勢ぞろいしている。観光案内もお気軽にお尋ねください。



## 05 丸亀市立資料館

丸亀城や丸亀藩京極家の歴史資料などを展示している。また、丸亀市に関する民俗資料の収集、収蔵、展示紹介も行っている。

城内側の櫓門を一の門、堀端の高麗門を二の門と呼び、寛文10年(1670年)頃の京極氏のときに完成した。一の門は楼上に太鼓を置き、城下に刻を知らせたことから、太鼓門とも呼ばれている。



## 石垣崩落ヶ所

## 石垣PR館

## 09 天守

## 09 天守

高さ約15m、三層三階で、全国に12しか残っていない現存木造天守のうちの一つである。

唐破風や千鳥破風を巧みに配置し、北側には石落としや素木の格子を付け意匠を凝らしている。昭和25年国指定・重要文化財

## 05 丸亀市立資料館

## 08 玄関先御門

この門は、京極氏の屋敷の表門にあたり、形式は薬医門という。この門に接して番所や長屋があり、芝生広場や資料館はかつて藩主の屋敷地だった。



## 07 大手一の門



## 06 大手二の門

## 丸亀城伝説

### ① 築城にまつわる伝説

羽坂重三郎は丸亀城の石垣を築いた功労者である。殿は石垣が完成した際に「この城壁を乗り越えるものはいない」とご満悦だったが、羽坂重三郎は殿の話聞き、鉄棒を使ってすいすいと城壁を登ってしまった。これを見た殿は羽坂重三郎が敵に通じた場合、恐ろしいことになると考え、城内の井戸の底を羽坂重三郎に探らせている隙に石を投じて殺してしまった。この伝説の残る井戸が二の丸井戸である。

### ② 丸亀城人柱伝説

シトシと雨の降る夕暮れ、一人の豆腐売りが作事場付近で豆腐を売りつつ通行していたところ、待ち構えていた人夫に捕らえられ、お城の人柱として生き埋めにされてしまった。以来雨の降る夜は築城の犠牲となった豆腐売りの怨霊が「トーフトーフ」と泣き続けるのだと言われている。

## 本書物の概要とねらい

教育現場の皆様へ

この冊子は、丸亀城を舞台に、物事を「**多面的・多角的**」に見たり、考えたりする能力を養う「**きっかけ作り**」を目指しています。それは人生において予測できない社会を歩んでいく子どもたちにとって、必要な「**生きる力**」の1つだと考えます。

「丸亀城」という1つのお城には、先人の知恵や工夫が詰まっており、思わず「なるほど」と言いたくなる、さまざまな仕掛けが随所に施されています。

「**当たり前なこと**」に疑問をもち、この考えるワークを通して、今までの経験や既成概念にとらわれず、色々な視点や立場からの思考力を身につけるための一助になることを願っています。

普段の生活から「**多様性に着目する意識**」を強く持ってもらえると幸いです。

## Q1. お城のイメージを話し合ってみよう！

## 【POINT!】

**お城が身近な生徒もそうでない生徒も、お城に訪れたことがある生徒もこれから訪れる生徒も、自由にお城の印象やイメージを話し合っ、共有してみてください。**

(例) 昔の建物、お殿様が住んでそう、高いところにある など  
※ちなみに丸亀城藩主は天守ではなく、城内にある現在の丸亀市立資料館付近に御殿を築き、住んでいたそうです。



## 日本一の石垣の名城「丸亀城」

日本に現存する木造天守12城の1つで石垣の高さ・美しさが印象的な「丸亀城」。石垣は使用する石の加工方法によって、下の写真のように3つに分類されます。  
※「はぎ」とは、つなぎあわせるという意味



石垣見どころ



野面積み

大小さまざまな大きさの自然石を積み上げた石垣。ゆるい角度で直線的に積まれています。あまり高く石を積むことはできません。



打ち込みはぎ

石の表面や石が接する部分を加工して、石と石とのすき間を小さくした方法です。すき間には間詰石という小さな石を詰めます。この方法では、野面積みよりも高く急な勾配で石垣を築くことができます。



切り込みはぎ

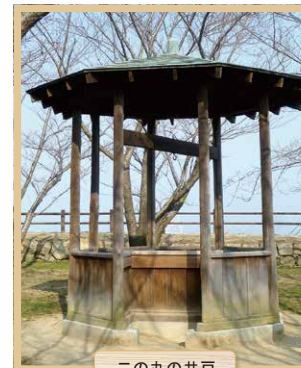
打ち込みはぎの石よりもさらに石を加工して形を整え、石どうしのすき間をなくした方法です。丸亀城では大事な場所に、この方法が使われています。



上の写真を参考に、お城のどんな場所に、どの積み方が使われているか、その理由も意識して見学してみようね！



## 二の丸井戸の伝説



二の丸の井戸

丸亀城築城の折、裸でせせと働く羽坂重三郎という男がいました。彼の働きもあり、壮麗な石垣が完成しました。殿様も「この城壁ならば飛ぶ鳥以外は乗り越えられまい」とご満悦でした。しかし、何を思ったのかその男は、「鉄の棒で登れます」と言い、すいすい城壁を登って見せました。そんな男が敵に寝返ったりしたら大変だと恐れた殿様は、二の丸の井戸の中を探らせる口実で、男を井戸に入らせている間に石を投じて殺してしまいました。

深さ約65m...  
怖いでござるな!



FW-①

さま 狭間って？



丸亀城  
スポットマップ

Q1. 何のために作られた？

【POINT!】

狭間のある場所や形から想像してみてください。

【解説】

大手二の門の左右に続く塙を「狭間塙」と呼び、狭間から外を監視し、敵が城門近くまで攻めて来たときに防御するために設けられている。

長方形のものが矢狭間（弓矢を放つ穴）、三角形のものは鉄砲狭間（鉄砲を撃つ穴）である。

（回答例）門番のため、城下町を見張るため など



Q2. 実際に見た感想や気づきなど

【POINT!】

狭間に開閉可能扉がついているのは、全国的にも珍しいです。

（回答例）

穴が小さい、見晴らしは意外と良い、狭間に開閉できる木の扉がある など



FW-②

いしおと 石落して？



大手一の門



石落し

Q1. 大手一の門の中に石落しがあるよ。なぜそこに作ったか考えてみよう！

【解説】敵が攻め込んできたときに、敵を迎撃するための防御設備として設けられている。石を落したり、上から槍で突いたりしていたようだ。中には鉄砲を下に向けて撃っていたのではないかという説もある。また「石落し」のある大手一の門は、旧藩時代に太鼓を楼の上に備えて、時報用としても使われており「太鼓門（たいこもん）」とも呼ばれている。

（回答例）敵が攻めてきたときに通る門だから、隠れ家になっているから など

FW-③

天守について



丸亀城 天守



城下町の眺め

クイズ：下の3つのマークが表すものは何だろう？ 自由に想像してみよう！



答え：上のマークは左から「生駒家」、「山崎家」、「京極家」の家紋で、丸亀城が3家に跨って、築城されたことを表しています。

Q1. お城からの景色を見て、そこに築城された理由を想像してみよう！

【POINT!】

天守や本丸から見える景色に注視してください。

北側には瀬戸大橋が見え、南東側には飯野山（別名：讃岐富士）を見ることができます。

【解説】

本州と四国の間で最も海峡が狭く、西国から江戸へ海を通して敵陣が攻めてくるのをいち早く発見でき、城下町も見渡せるため、亀山に築城されたとされている。

（回答例）

市内（城下町）を見渡せるから、何も遮るものがなく景色が良いから など

Q2. 天守の中のふしぎ・工夫を探そう！

【POINT!】

天守の中を観察すると水回りの設備跡がなく、お殿様は天守に住んでいなかったと見受けられます。実際は、丸亀市立資料館付近に御殿を築き、暮らしていたようです。

【解説】

丸亀城天守は高さ15メートル、三層三階で、全国で現存する木造天守十二城のうちの1つである。四国には4つの木造天守が残っているが、丸亀城天守はその中でも最古で1660年（万治3年）に完成した。天守は南北より東西のほうが長く設計されており、これは城下から天守を見たときに大きく見せる工夫であり、築城の際に美を意識されていたとも言われている。他にも天守内の急な階段は敵が登りにくいように作られていたり、様々な工夫が施されている。

（回答例）狭い、出入口が1か所しかない、階段が急である など

## FW-④ 石垣について（石垣修復現場を見て考えよう！）

ほうらくまえ  
崩落前

2018年7月・10月と  
にしにほんごう  
西日本豪雨や台風  
等の影響で崩れた  
石垣。修復しなければ  
ならない石垣は  
約？個。2028年3月  
末までの復旧を目指  
します。(2023年7月時点)

ほうらくご  
崩落後 石垣修復情報

クイズ① 積み直す石垣の数は何個？

答え：約11,600個

クイズ② 工事費用はいくらかかる？

答え：約52.5億円

Q1. 石垣が崩れた理由を考えよう！

POINT：2018年の豪雨以外にも崩れた原因がないか考えてみよう！

## 【解説】

崩れた石垣は、造られてから400年以上も経っていて、長い年月の中で少しずつ歪みが進み、2018年には石垣全体が歪んだり、石垣と石垣の隙間が目立つようになった。そこに豪雨による大量の雨水が入り込み、石垣の中にある土に悪い影響を与えて崩れたと考えられている。

Q2. 崩れた石垣をどうやって積み直すのか考えよう！

POINT：昔と今ではどんな変化があるか注目しよう！

Ex. 昔はこんな大きな石をどこからどうやって運んだのかな？

今ではトラックやショベルカーがあるから一度にたくさん運べるね！など

## 【POINT!】

積み直しが必要な石垣は約11,600個あります。崩れた石の元の場所を見つける方法が特徴的です。また修復には、現場の工事関係者や地域住民、多くの寄付者の方が関わっています。色々な立場から石垣修復完了まで誰がどんな働きをしているのかも考えてみてください。

## 【解説】

崩れた石垣は、崩れる前と同じ場所に積み直すので、どこにあった石なのか見つけ出さなければなりません。そこで活躍するのが「マッチングシステム」である。石には、割った跡や汚れやコケなど、よく観察すると一石ごとに違う特徴がある。「マッチングシステム」は、その特徴を崩れた後の石の写真から読み取って、崩れる前の石垣の写真から探し出し、元の場所を教えてください。

## フィールドワークの振り返り（考えたこと／感じたことを書こう！）

## 日常をさまざまな視点で考えよう！

いつも「当たり前」と思っていることを色々な”視点”や”立場”で考えてみてね！  
 (例) 学校では先生が教えてくれる。→もし、学校や先生がいなかったらどうする？  
 「世界には学校もない、教育を受けられない国や地域がある」

## 【POINT!】

この物事を多面的・多角的に考えるフィールドワークを通して、日常生活の中でも当たり前になっていることを今までとは異なる視点から見聞を深めてみてください。

(その他の例)

学校給食における食品ロスの問題

学校で食べている給食はどうやってできているのか。

食材はどこから？誰がどこで調理するの？

食べ残しはどこにいつて、誰が処分するの？その後はどうなる？



工事をしているとくずれた石垣の中から石垣が見つかったんだ。その大きさは、なんと合計6段分、高さは2mをこえて、大きな石も使われているんだ。でも、石がわれていたり、ずれていたりにして、とてもキズがついているみたい…。もしかすると、昔にくずれてしまって、石垣を直す時に、埋められてしまったのかもしれないね。

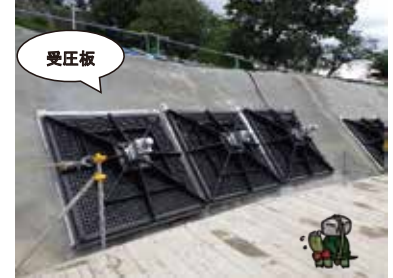
この石垣はPR館の横に展示してござる！  
大きさを体感するでござる！



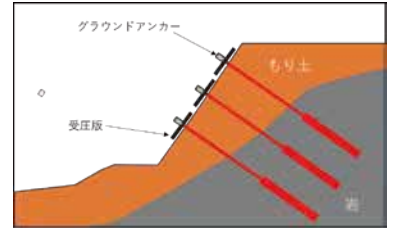
くずれたとき

2018年

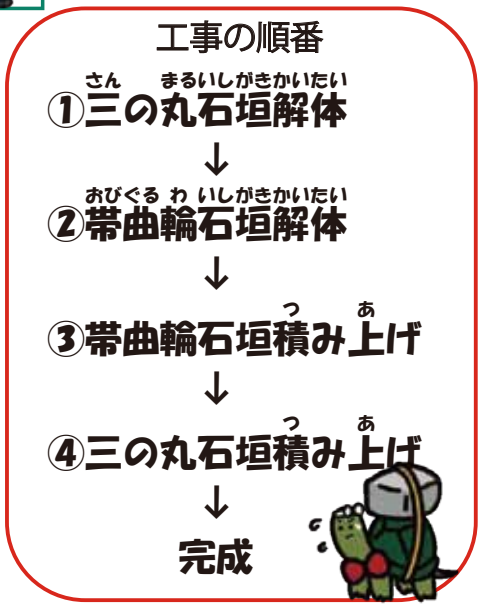
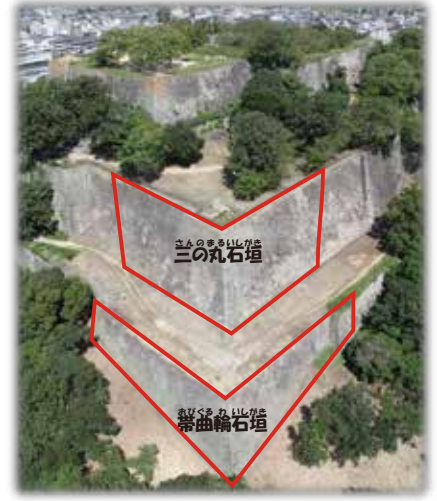
くずれた所を強くするには？  
①固い岩まで穴をほる  
②岩と受圧版を金属の太い線でむすぶ  
③しっかりと、もり土を押さえこむ  
こうすれば、くずれることなく安全に工事ができるね！



石垣の解体は？  
石垣の解体は、機械で土を掘り下げて、そうじをしたり、番号を書いたりした後に写真をとるんだ。そうやって調査して、1石ずついねいにつりあげるよ。もう一度積み上げる時に使う石だから大切に扱わないとね！



直している所



今の様子

